

公益財団法人 JKA オートレース公益資金による補助事業（2013 年度）

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

人のつながりや人間関係が希薄化したといわれる昨今、いのちやこころ、人としての生きる姿勢について考える機会が少なくなっている。いのちを脅かす病と闘いながらも子どもらしさを失わずに描かれた作品を通して、いのちの大切さや、夢を持つ大切さ、人を大切に思う気持ちを育み、改めて生きることを考える機会を作る。

(2) 実施内容(<http://www.ccaj-found.or.jp/news/info/sympo2013/>)

平成 25 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）にヒルトン福岡シーホークにおいて「第 55 回日本小児血液・がん学会、第 11 回日本小児がん看護学会」の 2 学会と「第 18 回公益財団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム」が同時期開催され、そのプログラムの一環として本事業を会場にて開催した。小児がんと闘った子どもたちの絵画 48 点をキャプションとともに展示した。3 日間の開催期間中の来場者数は前年度実績（616 名、於：横浜）を大幅に上回る 998 名を得ることができた。来場者のアンケートからもいのちの大切さや家族の大切さを改めて感じたというような主旨のものが多く、言葉で小児がんの現状について語るよりも、観覧されたひとりひとりの気持ちに訴えることができた。

2 予想される事業実施効果

絵画展が、小児がんの啓発、そしていのちについて考える展示になることが多くの方に認識されてきており、企業はじめ自治体などでも展示の依頼が期待される。それによって、小児がんのことを知らない方たちにも子どもにもがんがあるということ伝えていくことができる可能性がある。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ポスター、チラシ



- (2) (1) 以外で当事業において作成したもの
小児がんの子どもたちの絵画展 2013 報告書



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人がんの子どもを守る会（ガンノコドモヲマモルカイ）

住 所： 〒111-0053

東京都台東区浅草橋1-3-12

代 表 者： 理事長 山下 公輔（ヤマシタコウスケ）

担 当 部 署： 事務局（ジムブ）

担 当 者 名： 岡部 耕一郎（オカベコウイチロウ）

電 話 番 号： 03-5825-6311

F A X： 03-5825-6316

E - m a i l： nozomi@ccaj-found.or.jp

U R L： <http://www.ccaj-found.or.jp/>